

令和2年12月28日

氷見市長 林 正 之 殿

中伊勢町内会長

浦 隆 行



〃 自治会長

岩倉 鍾基



要 望 書

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

又、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

前回の氷見駅周辺整備事業の折に氷見駅前道路には一方通行区間が設置されました。この事により車両の出入りに不便さがあるのと同時に、いつ事故が起きてでも不思議ではないと指摘されていました。

この度、再度氷見駅周辺整備が計画され、その中に、駅前道路のスムーズな交通動線の確保やバス停、駐車場の拡充が検討され、まちの玄関口としての利便性向上と魅力アップを目指されておられると聞き及んでいます。

これが実現となれば地元住民と致しましては誠に喜ばしい限りでございます。

バス停と駐車場が整備される時に、県道氷見停車場線から延びている氷見駅南線の一部を、幅員5mから8mに拡幅されると聞いています。

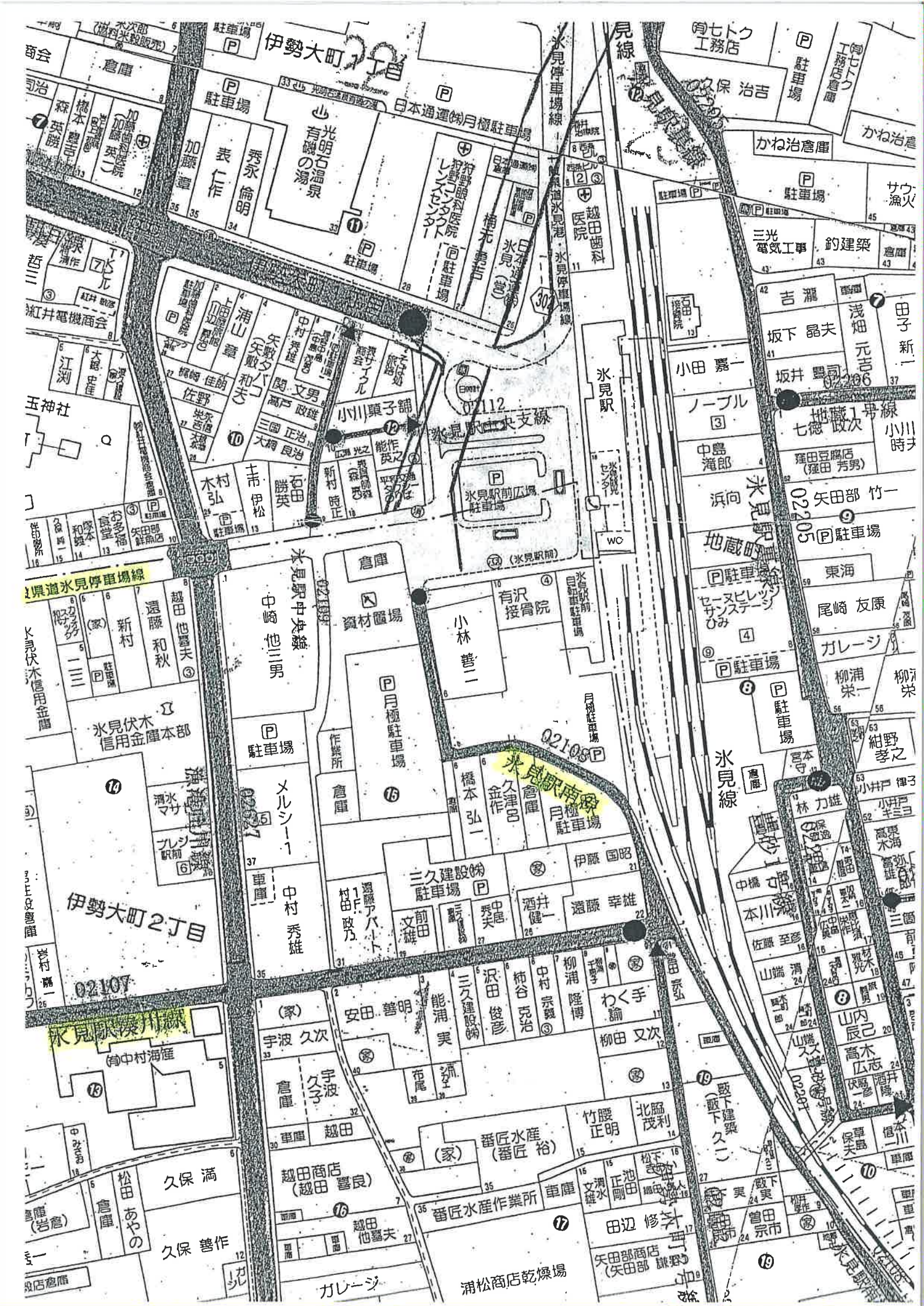
この際一つ提案と言っては僭越ではありますが、別紙に記載してあるように、一部道路幅員8mに拡幅する氷見駅南線を、そのままだ約50m氷見駅港川線まで真直ぐに新設延長して頂けないでしょうか。

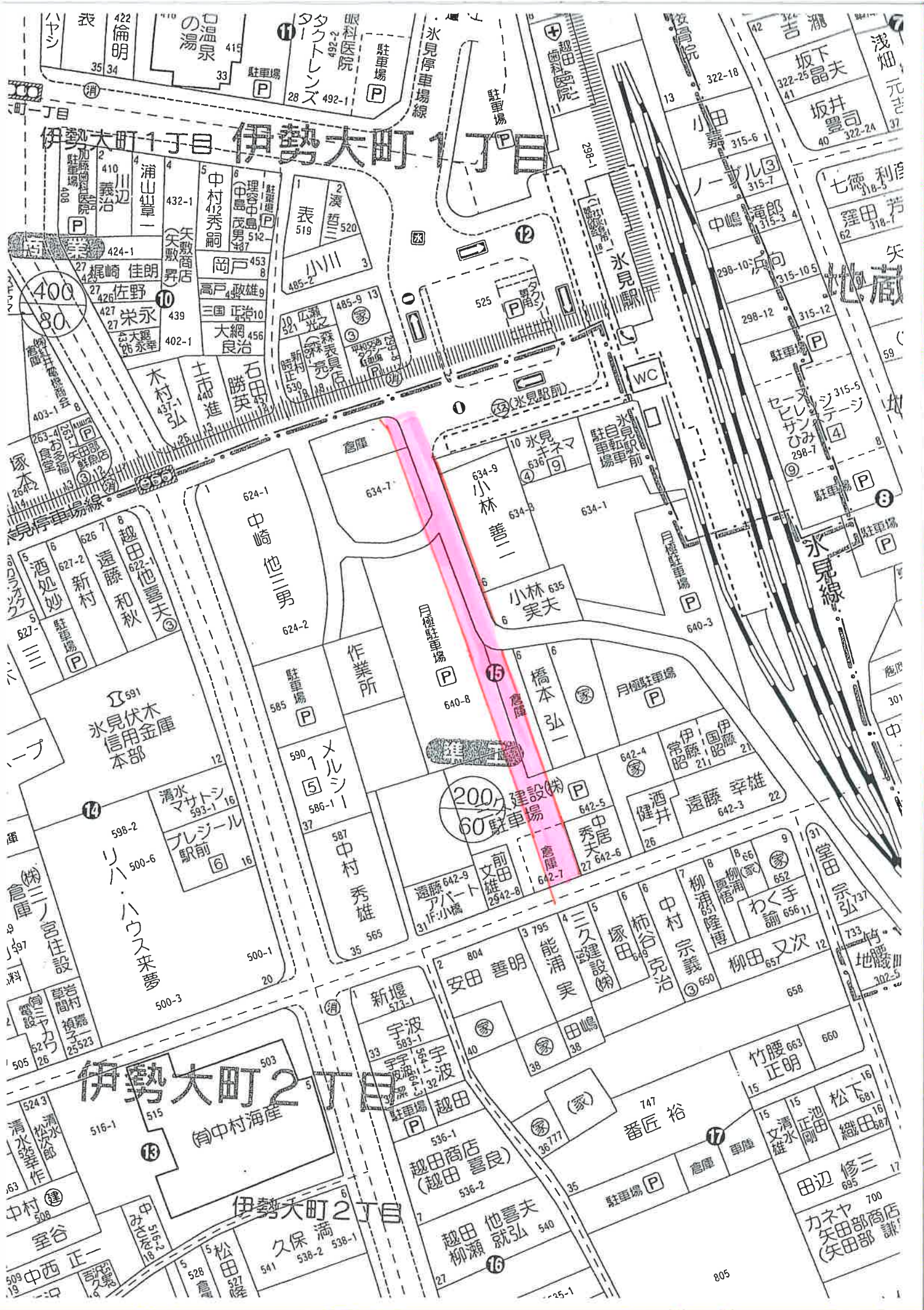
そうすると、駅前周辺のスムーズな交通動線の確保になり、利便性はより一層増すのではないのでしょうか。

つきましては、財政状況が厳しい折とは存じますが、当地区だけでなく市全体の利便性の賢察の上、安心して安全な生活環境の実現の為整備して頂きますよう心からお願い申し上げます。

以上







ページ 1

